



【世界糖尿病デーイベント】

令和元年11月14日

11月11日（月）～15日（金）自衛隊札幌病院（病院長：大鹿陸将）は、2006年に国連が定めた11月14日の世界糖尿病デーに合わせ、糖尿病に関する健康教育や血糖測定体験等のイベントを実施し、当院通院中の患者や近傍駐屯地の隊員及びその家族に対して啓発を行った。

期間中、自衛隊札幌病院正面玄関ホールにあるエンブレムに世界糖尿病デーのシンボルである「ブルーサークル」を装飾し、体組成測定体験、DVDの上映及び教育ポスターの掲示及びパンフレットの配布を行い、2F外来待合において、パンフレット及び携行食の栄養成分を展示し、「ブルーサークル」で装飾した病棟において、教育ポスターを掲示した。

期間中、部内外の来場者23名が、看護師、栄養士、理学療法士、及び薬剤師による療養相談を受け、缶コーヒーなど様々な食品に含まれる糖質を角砂糖やシュガースティックなど目に見える展示で確認し、模型の脂肪の重さを手に取って実感するなど、運動や規則正しい食習慣に対する意識を高めた。また、11日（月）札幌駐屯地厚生センター、15日（金）真駒内駐屯地西厚生センターにおいて「出張血糖測定イベント」を行い、隊員など101名に対して測定値に応じたアドバイスを実施して、糖尿病予防に関する知識の普及を図ることができた。



糖質量を確認する来院者



体組成測定体験



脂肪の模型を手に取る来院者



1Fエントランスのイベント会場



血糖測定（真駒内厚生センター）



血糖測定（札幌駐屯地）